


公共施設カルテ 施設別データ

施設基本情報			防災施設-1	
施設名称	高知市種崎地区津波避難センター 通しNo. 670			
所在地	種崎405-6	担当部署	地域防災推進課	
開設時期	2009年	利用面積	725㎡	施設分類
目的機能	南海トラフ地震等による津波等から市民の生命及び身体を守り、並びに市民の防災意識の向上に寄与するため、高知市津波避難センターを設置する。			 <p>撮影日: 7月 2017 © 2018 Google Google</p>
避難時指定	指定緊急避難場所 指定避難所			
津波浸水深	2.0~3.0m			

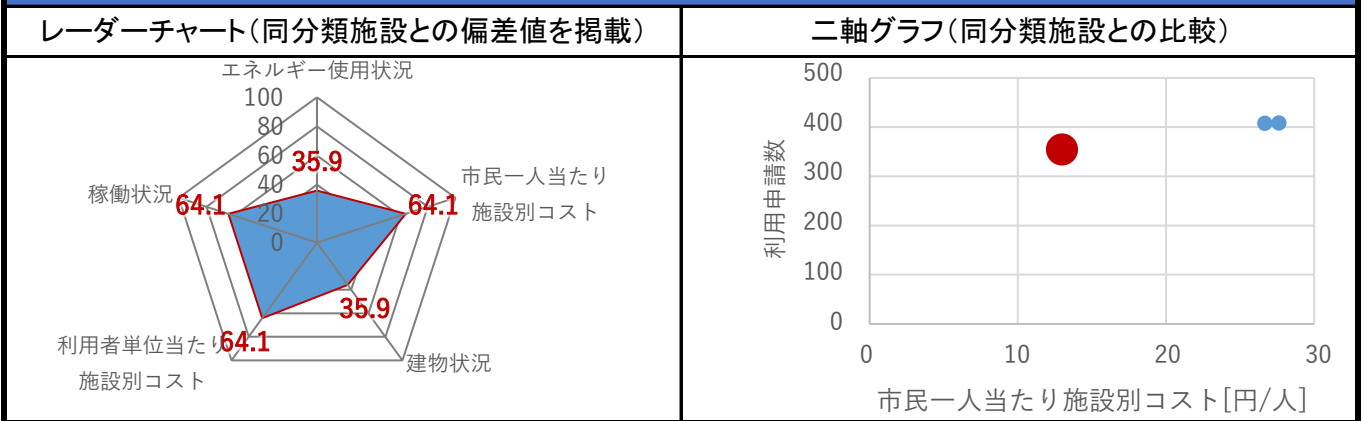
施設収支情報(2018年度)

①収入	0 千円		
②支出	1,533 千円		
③減価償却費	2,729 千円/年		
④施設別コスト	[(②+③)-①]		4,262 千円
⑤市民1人当たり施設別コスト	[④÷高知市人口]		13 円/人

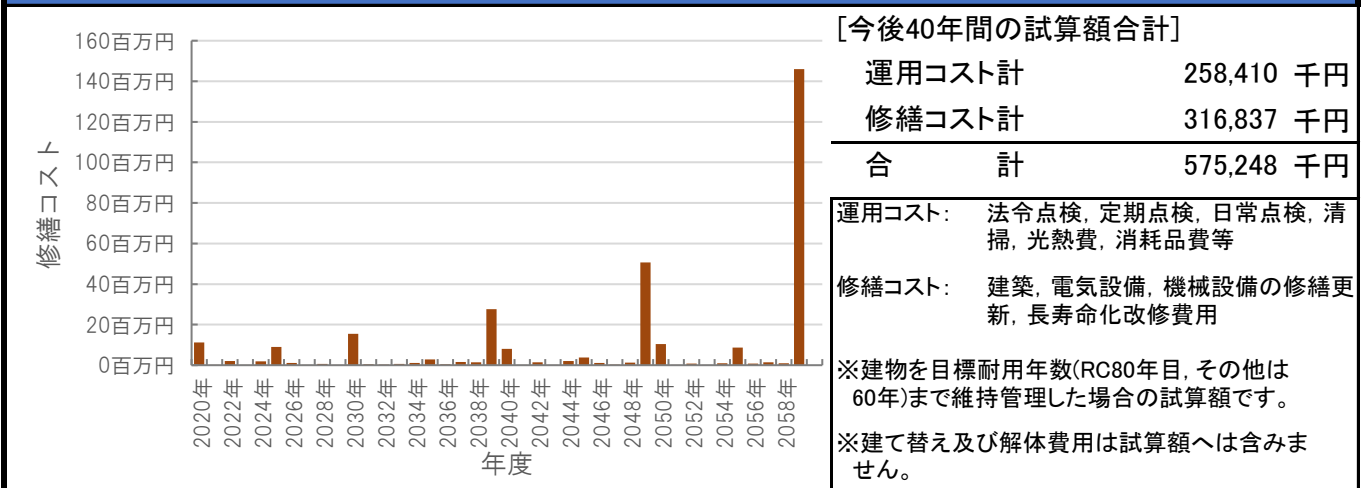
利用状況(2018年度)

⑥年間利用数	利用申請数	348 件/年
⑦利用数単位当たり施設別コスト	[④÷⑥]	12,247 円/件

総合評価(2018年度)




維持管理費等試算額



公共施設カルテ 施設別データ

施設基本情報 防災施設-2

施設名称	通しNo. 887 種崎地区舟倉津波避難センター		
所在地	仁井田1646-14	担当部署	地域防災推進課
開設時期	2017年	利用面積	1,498㎡
施設分類	防災施設		
目的機能	南海トラフ地震等による津波等から市民の生命及び身体を守り、並びに市民の防災意識の向上に寄与するため、高知市津波避難センターを設置する。		
避難時指定	指定緊急避難場所 指定避難所		
津波浸水深	3.0m～		

施設収支情報(2018年度)

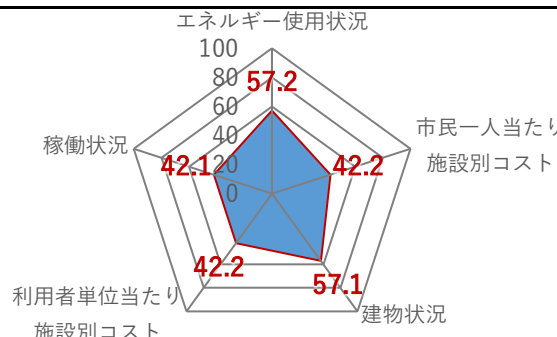
①収入	0 千円
②支出	1,450 千円
③減価償却費	7,659 千円/年
④施設別コスト	$[(②+③)-①]$ 9,109 千円
⑤市民1人当たり施設別コスト	$[④ \div \text{高知市人口}]$ 28 円/人

利用状況(2018年度)

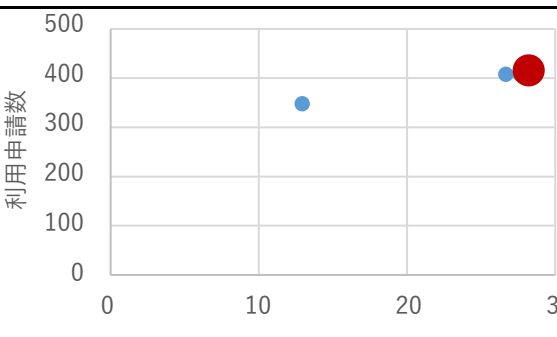
⑥年間利用数	利用申請数	409 件/年
⑦利用数単位当たり施設別コスト	$[④ \div ⑥]$	22,271 円/件

総合評価(2018年度)

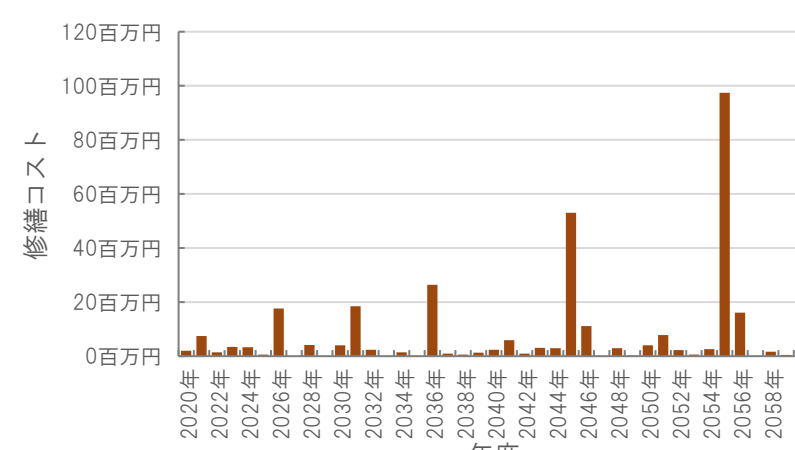
レーダーチャート(同分類施設との偏差値を掲載)



二軸グラフ(同分類施設との比較)



維持管理費等試算額



[今後40年間の試算額合計]

運用コスト計	533,968 千円
修繕コスト計	311,183 千円
合計	845,150 千円

運用コスト: 法令点検, 定期点検, 日常点検, 清掃, 光熱費, 消耗品費等


修繕コスト: 建築, 電気設備, 機械設備の修繕更新, 長寿命化改修費用

※建物を目標耐用年数(RC80年目, その他は60年)まで維持管理した場合の試算額です。

※建て替え及び解体費用は試算額へは含みません。

公共施設カルテ 施設別データ

施設基本情報 防災施設-3

施設名称	種崎地区貴船ノ森津波避難センター 通しNo. 888		
所在地	種崎662-6	担当部署	地域防災推進課
開設時期	2017年	利用面積	1,346㎡
施設分類	防災施設		
目的機能	南海トラフ地震等による津波等から市民の生命及び身体を守り、並びに市民の防災意識の向上に寄与するため、高知市津波避難センターを設置する。		
避難時指定	指定緊急避難場所 指定避難所		
津波浸水深	3.0m～		

施設収支情報(2018年度)

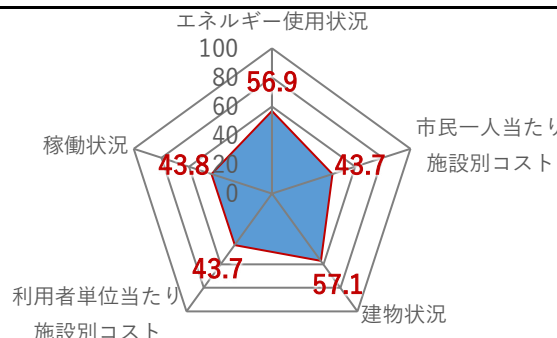
①収入	0 千円
②支出	1,461 千円
③減価償却費	7,332 千円/年
④施設別コスト	$[(②+③)-①]$ 8,793 千円
⑤市民1人当たり施設別コスト	$[④ \div \text{高知市人口}]$ 27 円/人

利用状況(2018年度)

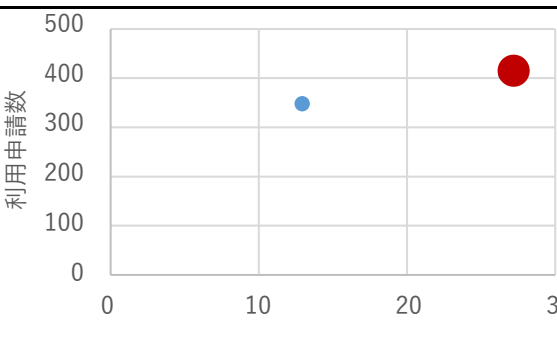
⑥年間利用数	利用申請数	408 件/年
⑦利用数単位当たり施設別コスト	$[④ \div ⑥]$	21,551 円/件

総合評価(2018年度)

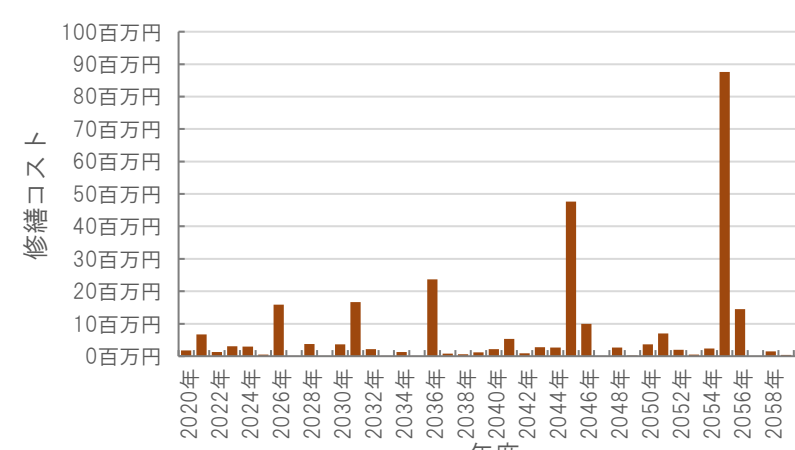
レーダーチャート(同分類施設との偏差値を掲載)



二軸グラフ(同分類施設との比較)



維持管理費等試算額



[今後40年間の試算額合計]

運用コスト計	479,930 千円
修繕コスト計	279,691 千円
合計	759,621 千円

運用コスト: 法令点検, 定期点検, 日常点検, 清掃, 光熱費, 消耗品費等

修繕コスト: 建築, 電気設備, 機械設備の修繕更新, 長寿命化改修費用

※建物を目標耐用年数(RC80年目, その他は60年)まで維持管理した場合の試算額です。

※建て替え及び解体費用は試算額へは含みません。